

～軽井沢町の“今”を伝える情報紙～

ボランティア情報

2014年
5・6月号

発行 軽井沢町ボランティアセンター
〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844-1 木もれ陽の里
電話 45-8113 FAX 46-2116

http://www.ktvc.jp Email karu-vc@eco.ocn.ne.jp

嬉しかった!あんなこと、こんなこと…

2月14日から降り始めた雪は記録的な大雪となりました。そんな中社協は中軽井沢の高齢者住宅へ雪かきに出動。しかし途中で動けなくなった車を移動してから進まなくてはならないことに。

近所の皆さんと汗だくになってなんとか移動…。我々はその後高齢者住宅へ行きましたが、そこには目を疑う光景が…。心が折れそうになっていると、さっきまで一緒に車の救出をしていた近所の小中学生が、何も言わずに手伝いをしてくれるではありませんか!! 本当に嬉しかった～!! 涙ぐんで雪がにじんで見えました。もう一度あの子たちに逢いたいな～。

園芸福祉基礎講座が始まりました!!

園芸福祉の考え方を多くの方々と共有し、さまざまな立場の皆さんと手を携えあいながら、軽井沢町における地域福祉、ボランティア・地域活動が活性化されることを目的に標記講座を下記のとおり実施します。

1. 期 日・内 容・講 師

第2回 平成26年6月11日(水)

(応用編) 植物の栽培方法とガーデニングの基礎を学びましょう!

講師: 長野園芸福祉ネットワーク理事 越 洋子氏

第3回 平成26年6月23日(月)

(実践編) 笑顔と花があふれる体験実習!

講師: 長野園芸福祉ネットワーク会員 山岸 征男氏

2. 主催: 軽井沢町社会福祉協議会 軽井沢町ボランティアセンター

3. 会場: 保健福祉複合施設 木もれ陽の里 会議室1

4. 時間: 毎回午後1時30分～午後3時

5. 定員: 20名

6. 費用: 無料

こんなことしてます！運営委員会！

ボランティアセンターにはセンターの運営と活動基盤を強化していくための委員さんが8名在籍しています。そこでどんな内容が話し合われているのかお伝えしていきます。

(開催日) 平成26年4月8日(火)～第1回～

—第4回ちいき活動みほん市の振り返り(要旨)—

*児童生徒の参加促進について…春休み中のイベントであったが児童生徒の参加者が少なかった。更なる工夫を重ねること。

*みほん市の内容について…関係者だけの交流事業から地域住民を幅広い参加者対象にした形式に変わってきたと感じられた。

*次回に向けて…軽井沢町の土台を担うボランティア・地域活動を更に活性化して行くことの一つの手段がみほん市。それが関係性豊かな軽井沢町の将来を造り出すことを信じて、周囲にメッセージとして伝えていこう！

ボランティア活動費助成事業審査会が開催されました

今年度第1回目となる助成事業の審査会が開催されました。この事業はボランティアセンターに登録されている全ての団体を対象に毎年行われているもので、申請団体の活動内容に応じた助成金を審査会を通じて決定しています。

第1回審査会：平成26年5月19日(月)

審査団体：2団体(共同作業所さくら草・ふれあいの会)

どんなことしてるグループかしら！？

共同作業所さくら草

障がい者共同作業所(現地域活動支援センター)での果物加工作業や通所者の皆さんとの共同作業で裂き織りやそれをもとにした作品(バッグなど)を製作しています。

ふれあいの会

三ツ石地区にある軽井沢保育園で長年にわたり利用されている皆さんとの交流(お散歩の付き添いもしていますよ)や自主製品の作成を通じた寄付などを行っているグループです。

〇〇今年もやります！サマーチャレンジボランティア〇〇

夏休み中の体験型ボランティア活動を今年も下記の通り予定しています。興味関心のある皆さんのチャレンジ！をお待ちしています。

体験期間：平成26年7月26日(土)～8月19日(火)の期間で3日間ほど活動してみませんか？

体験内容：障がい者アート作品作成「アート講座」と福祉施設でのボランティア体験

体験場所：町内の高齢者施設、障がい者施設、木もれ陽の里 ほか

対象者：小学校5.6年生～中学生、高校生まで

申込み：学校を通じてチラシを配布しますのでご覧ください。

軽井沢町内の“ローカルネタ”をご紹介します！始めよう！

ローカルコミュニケーション！

(6月)

- ・8日(日)～われもこうの会 発地の原っぱで作業
(作業場所はボランティアセンターまで要問合せ)
13:30～現地集合
- ・11日(水)～園芸福祉基礎講座／第2回目／ガーデニングの基礎知識を学ぼう
13:30～ 木もれ陽の里
- ・15日(日)～町立図書館読書ボランティア「おはなしツリー」のおはなし会
「あめのおはなし」 中軽井沢図書館 10:30～
- ・18日(水)～われもこうの会 前沢の原っぱで作業
(作業場所はボランティアセンターまで要問合せ)
- ・ぷれジョブ定例会～障がいを持つ子供たちの地域活動をサポートし、交流を通じた社会体験をサポートしてくださる方々と受け入れ企業さんたちとの定例会があります。次号では定例会の様子をお伝えします！
- ・毎週木曜日～軽井沢いきいき子どもネットワークの赤ちゃんサロン
13:30～15:00 軽井沢町中央公民館 和室
- ・毎週水曜日～軽井沢東部小学校の昔遊びタイム(お手玉・けん玉・コマ等)
13:15～13:50 参加希望はボランティアセンターまで要問合せ

知ってる！？ 意外と知らない“あれ・それ”

*募金の種類

- ・赤い羽根共同募金…ご存知の赤い羽根募金です。にわたりの羽根を使っています。
- ・青い羽根募金…日本水難救済会への募金のしるしに羽がもらえます。
これにもわたりの羽根。
- ・日赤募金…日本赤十字社へ納入する募金です。世帯募金と社員社資とに分けられます。
- ・緑の募金…緑の募金法という法律があります。国土緑化推進機構が事務局です。
- ・ユニセフ募金…世界の恵まれない国の子供たちのために個人や企業が行う募金。
黒柳徹子さんやジャッキーチェンさんなどが親善大使として有名です。
他 いろいろ…

*募金と寄付の違いって？

- ・募金とは、お金を募ること。
つまり、大勢の人に、声をかけたりしてお金を集める側の行為を指します。
お金じゃない場合は、募集とか公募とか寄付を募るとかの表現になります。
- ・寄付とは、その逆で、募金等に対してお金を提供する側の行為です。
寄贈、応募、献金ともいいます。献金ならお金、寄贈・応募なら物品もありえます。
つまり、募金と寄付は、(金銭が絡むという問題以上に)行為の流れが逆の関係です。

(Yahoo 知恵袋より)

今年は10年目！ふれあい祭り！！

おかげさまで10年目を迎えるふれあい祭り。毎年たくさんの参加者・協力者に支えられてここまでやってきました。

そこで、6月中に実行委員会を組織します。たくさんの仲間に出会えるチャンス！この機会にあなたも実行委員会へ参加してみませんか？お待ちしております！！

○実行委員会：平成26年6月26日（木） 午後7時～ 軽井沢中央公民館 講義室

○内 容：今年のお祭りの概要を確定しましょう！

○参加対象：お祭りが好きな方なら誰でも歓迎です。

○お申込み：軽井沢町ボランティアセンターまで

《シリーズ》ボランティアってこんなこと！？



ボランティアってなんでしょう？私もこの仕事をしながらいつも考えています。私には10歳になる娘がいますが、父親の仕事を説明するのに頭をひねっています。

ボランティアや福祉を小学生にもわかるように伝える方法が一般の方にも一番理解されやすいだろうと以前から考えていました。そこで出会ったのが、早瀬さんの提唱された「ボランティアは恋愛に似ている」論です。ちょっと気になるフレーズですね。それを今回よりシリーズでお伝えしてみようと思います。

文章中の「ともに」はボランティアのことです。

♡ともに自発的で無償の行為だ。

ボランティアは無償、無給、手弁当と言われて来ました。

では恋愛はどうでしょう？早瀬さんはこう述べていますよ。

「恋愛は自分から働きかけるか、相手から声をかけてもらえるかでしょ。どちらも相手のことを気にかけているからする行為。ボランティアも活動したいから働きかけるし、一緒に行動したいから仲間に働きかける。そんなに難しく考えちゃうとボランティアって楽しくなくなるよ」。

そういう考え方を待ってました！と私は嬉しくなりました！これなら小学生にもわかる（かもしれない）と考えています。今度どこかでボランティアの話をするときには早瀬さんの思考を持ち込んでみたいと思います！

最後までお読みくださりありがとうございました。次回は7月に発行です。